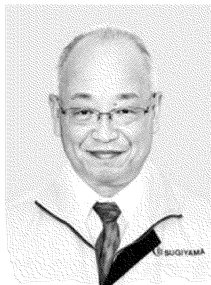


新社長登場

New President

非鉄総合商社、川嶋(本)
社—浜松市、川島義勝代



杉山製作所

小野 貴彦氏

安心な供給体制構築

表)を中核とする川島グループの杉山製作所の社長に1日付で小野貴彦氏が就任した。小野新社長は「新体制がスタートした川島グループ各社や社員と一緒に、事業に真摯に取り組んでいく。品質と信頼を常に心掛け、ユーザーが安心して供給体制を構築してい

きたいと意欲を述べる。杉山製作所は小型モーターに用いられる整流子などの開発から製造、検査、製造設備や金型の製造、メンテナンスまで一貫して自社で行う。直近の売上高は国内が約40億円、海外が15億円ほど。自社の強みに関して小野社長は「地道に真面目

いけるようにしなければならぬ」と強調する。国内整流子メーカーは一時、海外移転が進んだが、同社は日本でのモノづくりを引き続き重視する。また、時代の流れに合わせて「過去は家電向けなどが主力だったが、現在では自動車向けが96%を占める。今後も自動

感を持った対応に繋げていきたい」と意欲を示す。(服部 友裕)

▽小野貴彦(おの・たかひこ)氏—1984年中大商卒。同年杉山製作所入社。入社後は製造技術から営業まで幅広く経験。韓国やインドネシアなど海外拠点の立ち上げでも中心的役割を果たした。03年営業部部長。09年取締役営業本部長。21年2月から社長兼営業本部長。趣味は料理で得意料理は「酒のつまみになるもの」と笑顔を見せる。好きな言葉は「信頼」で「社員を信じ、力を合わせてやっていきたい」と謙虚に語る。創業家の杉山賢一会長の従弟。59年5月10日生まれ、東京都出身。

に取り組む姿勢」を強調。一方、課題として「円滑な世代交代」を挙げる。「従業員も高齢化してきており、スムーズに技術を継承して車だけでなくさまざまな製品の電動化に対応していきたい」などと柔軟な姿勢でモノづくりに向き合う。

新体制発足に伴い、本社機能を東京都内から静岡県御前崎市に移管した。生産現場と営業が一体化することでスピード